

# ネット

## 現在を見つめ、

### 未来に過大な負担を残さない

市民生活と経済活動がコロナ禍以前に戻りつつある一方、昨年2月から続くロシアのウクライナ侵攻を背景にした世界的な物流の停滞と物価高騰が、社会経済の先行きを不透明にしています。そうした状況下で提案された2023年度予算案は、一般会計では前年度比0.6%減、特別会計で2.1%増、総額で0.6%増という、ほぼ前年度並みの規模でした。歳入では、その約54%を占める市税収入において、1.8%の伸びを見込んでいます。また、歳出では、燃料費等の高騰の影響が及ぶ経費や給食の食材費などにおいて高騰分を見込んで計上していることを確認しました。

#### ●新年度予算諸議案に賛成

地方自治体は有権者が首長と議員をそれぞれ選ぶ二元代表制であり、市長に対する与党・野党の区分は存在しません。神奈川県は過去9年間に一般会計予算に6回反対、3回賛成しています。市長を支持するあるいは支持しないという党派の固定的なスタンスによって賛否を決めるのではなく、提案された予算案全体を是非で捉えた結果です。

2023年度一般会計予算案には賛成しました。新庁舎の基本設計の費用は計上されませんが、新庁舎等整備に向けた準備の経費は盛り込まれています。先の12月議会で市役所の位置を深沢に定める条例議案に賛成した立場からすれば、この予算案は賛成すべきものと考えました。

#### ●取り上げた主な事業

「セーフティネット」が機能する地域社会の形成と、未来の世代に過大な負担を残さないまちづくり」という視点で、介護保険事業、ケアラー支援、高齢者の移動支援、住宅確保困難者の居住支援、平和推進事業、生涯学習センターの利用区分、文学館の休館、次期総合計画「待機児童対策と保育士確保の後押し、梶原四丁目用地の活用、本市にとつての日本遺産、津波避難建築物、小学校給食の充実、学校整備計画、不登校特例校、フリースクール利用支援、ICT教育

# ブイジョン

## 困難は向き合って

### ぶち破るためにある

ロシアによるウクライナ侵攻やトルコ南部地震。私たちの暮らしはこれら世界の出来事から無縁ではありえず、共生の意義を再考する時です。多くの命が危険にさらされる同様の状況で活躍した緒方貞子氏の言葉を引用し代表質問を行いました。(タイトルが緒方氏の言葉です。)また予算関連諸議案の審査を通じて多くの指摘事項要望を行いました。

#### ●福祉の充実について

聞こえの悪い方に対応できる文字表記受付システムの全庁的導入を提案。また介護予防への予算拡充を要望。●学ば環境のさらなる充実を。マスクの常時着用などコロナ禍での学びが常態化する中、5類への移行を見据えた取り組みが必要です。とりわけ低学年の子供を中心とした、丁寧な対応を要望しました。そして子供たちが快適に過ごせるよう、学校トイレの洋式化について速やかな対応を求めました。

#### ●まちづくり等について

大船のまちづくりについて、時代に即した新たな計画編成を求めました。今泉クリーンセンターの臭気対策の実施状況を検査、また道路の拡幅といった地域要望への誠実な対応を求めました。さらに確実な実施につながる新交通システムの試験推進を要望しています。

#### ●災害対応として

深沢多目的広場に設置されるトイレレトララーの活用を評価しました。また大規模災害時個別避難計画の策定の方向性についていただきました。各施策の着実な推進によって市民生活の一層の向上が図られるよう今年度も注視、活動していきます。

# 自民党

## 次世代に負担を先送りさせない

### 行政経営を

自民党鎌倉市議会議員団を代表して代表質問に立つとともに予算審査特別委員会に臨み、少子高齢化が進む中、次世代に負担を先送りさせない、という視点の基、新庁舎整備や行財政改革、教育、防災、観光など多岐にわたる質問を行いました。慎重な審査を行い、令和5年度一般会計予算他諸議案に関して全て賛成しました。質問や意見を付した主な点は以下の通りです。

#### ●小・中学校給食無償化を

小・中学校の給食を実施する全国3割の自治体で既に給食無償化が実施されています。委員会の答弁では財政源確保が課題とのことでしたが、給食無償化は、物価高で苦しむ子育て世帯への有効な支援と考えます。また、財源について国に対して支援の働きかけを要望しました。

#### ●安心・安全な鎌倉のために

令和5年度より小・中学校や各支所に防犯カメラが設置されることは評価します。防犯カメラは犯罪抑止に絶大な効果があり、今後はプライバシーに配慮しながら、通学路や公園などにも設置を要望しました。また、鎌倉駅周辺の路上喫煙禁止区域内には喫煙所が、一か所もありません。喫煙者、非喫煙者が共存できる環境整備のため、喫煙所の設置を求めました。

#### ●戦略的な観光施策について

鎌倉市の観光施策は対策面に集中しており、観光基本計画を推進させる取り組みが弱いと考えます。綿密なマーケティングを行い、戦略的な観光施策の実施を求めました。併せて、公有地化後、未利用となっている史跡を整備し、観光を含めた利活用について要望しました。

# 公明党

## 安定的財源の確保と市民が

### 実感できる行財政改革を

松尾市長が「ミライへ育む予算」として、鎌倉市民憲章制定50年を迎えた本市の次子どもたちを育てる環境の整備、災害時にも強い強靱なまちづくり、鎌倉の魅力を引き出し、向上させる取り組みの3本柱に重点をおいた予算案である点を評価し、一般会計他諸議案に賛成しました。

#### ●安定的な財源確保を

歳入の約53%を占める市税。企業誘致や子育て支援、テレワーク普及による生産年齢人口の転入超過数を増やす施策で安定的な市税確保の取り組みを求めました。

#### ●DX推進による行財政改革を

DX推進による業務効率化と人件費削減および市民サービス向上は行政においてもますます重要です。「デジタル田園都市国家構想推進交付金」など国の支援策を積極的に活用し、DX推進を柱とした更なる行財政改革推進を求めました。

#### ●防災減災・避難対策推進を

道路、橋梁、下水道など、社会インフラの整備・老朽化対策や崖地対策の推進とともに、防災拠点の整備、津波避難経路の整備を進め、避難行動要支援者名簿の活用改善と新たな取り組みとして「やさしいハザードマップ」「ペット同行避難ガイドライン」の作成など、市民に寄り添った多様性のある避難対策推進を求めました。

#### ●積年の重要課題

本庁舎整備事業やごみ処理体制の構築といった積年の重要課題に関しては、市民理解と議会での合意形成を図り、具体的に進展させることを強く求めるとともに、物価上昇が市民生活に影響を及ぼしている厳しい状況だからこそ、重点施策・事業を着実に実行し、市民が実感できる・スピード感のある柔軟な財政運営を求めました。